

## 普及現地情報



発信年月日：令和4年（2022年）11月14日  
所属名：高島農産普及課  
番号：H22008  
部門分類：150 野菜  
発信者名：北澤

### たかしま野菜・園芸塾トレーニングハウスでメロンを収穫

園芸品目の栽培に興味がある方を対象に開講している「たかしま野菜・園芸塾」において、メロンやトマトなどを実際に栽培する取り組みを今年から始めました。受講生自身が栽培管理作業を行って、10月中旬には立派なメロンが収穫できました。次年から自分でもやりたいという声も聞かれるようになったので、実現・定着に向けて、当課では引き続き支援していきます。

高島地域農業センターと当課が企画・運営している「たかしま野菜・園芸塾」では、毎年受講生を募り、栽培や経営を学ぶ機会を提供しています。これまでは管内の先進的農業者のほ場を訪れて教わる活動が主でしたが、今年度から新たに、実際に果菜類（トマト・ミニトマト・メロン）を栽培する試みを始めました。そのため、JAレーク滋賀今津営農経済センターからビニールハウスを借りて、プランターを用いた簡易な少量土壌培地耕システムを設置し、栽培に取り組みました。

今年度は10名が受講生として参加されています。受講生全員にとって、ハウス内での果菜類の栽培は初めての経験ですが、栽培の楽しさ、厳しさをしっかりと経験してもらおうべく、受講生各自が担当する株をもち、責任をもって栽培管理作業や農薬散布などを実施するような運営方法としました。

メロンについては、美しいネットが出るアールスメロン系品種の栽培に取り組みました。高級そうなメロンが果たして自分の手で作れるものなのか、受講生にとっては半信半疑の状態で始まりました。当課の支援の下、播種・育苗も受講生自身が行い7月下旬にハウスに定植、その後は誘引作業や葉かき、人工受粉、摘果、玉吊りなどが実施され、時には誘引を手抜きしたばかりに枝が折れてしまったり、うどんこ病やワタヘリクロノメイガに悩まされたりといった紆余曲折を経て、遂に10月中旬には、受講生全員が収穫を迎えることができました。メロン果実の重量は概ね1.5～2.0kg、糖度は13度以上あり、中には16度を超えるものもあってなかなかの出来ばえで、受講生達は、自分の作ったメロンのおいしさに驚いていました。

この経験がきっかけとなり、受講生の中には次年度からメロンを栽培したいという人もいます。今後当課は、意欲ある受講生をフォローし、メロン等の園芸品目生産の担い手として飛躍できるよう、支援していきます。



自ら育てたメロンを持って収穫のお祝いです